

# TOYO TIRE HOLDINGS OF AMERICAS (TTHA)

## 水谷友重代表取締役社長

### 南カリフォルニア日米協会「国際市民賞」受賞

東洋ゴム工業の北米タイヤ事業統括会社、TOYO TIRE HOLDINGS OF AMERICAS (TTHA) 水谷友重代表取締役社長 (TOYO TIRE U.S.A. CORP 代表取締役社長兼任) が、6月17日、南カリフォルニア日米協会より「国際市民賞」を授与された。

同賞は、日米の経済、文化、政府等の友好関係の構築を目的とする、非営利団体「南カリフォルニア日米協会」が主催する表彰制度で、日米関係に貢献した個人、団体に対して授与される。

過去には、豊田章一郎氏 (現・トヨタ自動車名誉会長) や、稲盛和夫氏 (現・京セラ名誉会長)、中曽根康弘元内閣総理大臣などが受賞している。

水谷社長は、2009年に、東洋ゴム工業が持つ北米タイヤ販売会社、NITTO TIRE U.S.A. INC. 就任した。そして、社長就任以降、日本企業がアメリカで行なう事業基盤を作った、先人の日系人への感謝の意を常に持つことをモットーに、全米日系博物館や、日米協会への支援活を行ってきた。また、アメリカにおいて、日系社会の発展に貢献した方々の偉業を伝えるドキュメンタリーフィルムの制作を行なうとともに、それらを日系NPO機関や、教育機関に寄贈するなど、水谷社長自らが積極的に企画をし、NITTO独自のCSR活動を展開してきた。この長きにわたって続けてきた活動が評価され、今回の受賞に至った。

受賞した水谷社長は「このような名誉ある賞に恥じないよう、今後も、オリジナリティーを求め、北米における東洋ゴムグループの発展に貢献していきたいと思う。また「アメリカで利益を上げた企業は、社会に還元する」という、アメリカならではの経営ルールを教えていただいた、田中正明三菱東京UFJ銀行元米州支配人に感謝申し上げます」と語った。



受賞の挨拶をする、TTHA 水谷社長



Keiko BROCKEL NITTO TIRE U.S.A. Inc. 社長 (写真左から2番目) と、水谷社長 (写真右から2番目)